



2010 日中美術 シンポジウム

主催 日本中国文化交流協会
美術評論家連盟
中国美術家協会
後援 中国大使館
協賛 公益信託タカシマヤ文化基金

「美術とグローバリズム？」

日時 2010年11月14日(日) 10:30~17:00(10:00開場)

会場 東京国立近代美術館 地下1階講堂

〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園3
交通：東京メトロ東西線竹橋駅1b出口徒歩3分

入場 無料

(定員100名 本紙裏面下「参加申込書」にてお申し込みください。定員に達し次第締切り、参加可否は聴講券発送をもって代えさせていただきます)



◆ 中国美術家代表団

- 団長 邵大箴 中央美術学院教授・美術学研究所所長
(中国現代美術、中国・西洋美術比較)
- 団員 張曉凌 中国国家画院副院長
(中国近現代美術、原始美術、中国古典絵画、中国民間美術)
- 団員 丁寧 北京大学芸術学院副院長・教授
(現代中国・西洋美術比較、芸術理論、芸術教育、芸術博物館問題)
- 団員 杭間 清華大学美術学院副院長・教授
(中国デザイン史、中国現代美術)
- 団員 蘭瑩 中国美術家協会対外連絡部幹事

◆ 日本側

- 建畠 哲 国立国際美術館館長(近現代美術)
- 牧 陽一 埼玉大学教養学部教授(現代中国の文学・芸術)
- 峯村 敏明 美術評論家連盟常任委員、多摩美術大学名誉教授(近現代美術)
- 呉 孟晋 京都国立博物館学芸部研究員(中国近代美術史)
- 司会 川口 直宜 泉屋博古館分館長(近現代日本美術史)

2010 日中美術 シンポジウム

「美術とグローバリズム？」

冷戦構造の終了以来、世界の経済は、ひとつのマーケットを形成するようになりました。

美術においても頻繁に国際的な展覧会、アートフェアが開催されるようになり、アーティスト、美術館長、キュレーター、美術評論家、コレクター、アートディーラーは、世界各地を常に行動し、アートもまた市場経済に巻き込まれたかのように見えます。

しかし、アートは精神の所産です。その時代、地域、文化、政治、経済と密接に結びついていることは言うまでもありませんが、それらの要素は、精神的な変容を受けて視覚化されるのではないのでしょうか。

美術とグローバリズムについて、実際にどのような検証がなされているのか、「ひとつのマーケット」は、いかなる作用を人々の精神におよぼし、それがアートとして成立しているのか、そうした問いに対し真摯な考察は未だ少ないように思われます。

本シンポジウムでは、日本と中国のアートがいかに世界と向き合っているか、そこにいかなるグローバリズムを見いだすか、もしくは見いださないかを問う場となるでしょう。

日本中国文化交流協会、美術評論家連盟、中国美術家協会は、1993年と1995年、日中相互に美術シンポジウムを開催、「日本と中国における近代美術とは何か」（1993年 東京）、「二十一世紀に向かう東洋美術」（1995年 北京）をテーマに議論しました。今回、日中両国の美術専門家が15年ぶりに一堂に会し、討議します。

◆タイムスケジュール

10:30~10:40	開会挨拶	辻井 喬	日本中国文化交流協会会長
10:40~11:20	基調講演	建畠 哲	国立国際美術館館長
11:20~12:00	基調講演	邵 大 箴	中央美術学院教授・美術学研究所所長
12:00~12:30	質疑応答		
12:30~13:30	昼食		
13:30~16:50	パネルディスカッション		
13:30~15:30	パネリスト発言		
	日本側	牧 陽一	埼玉大学教養学部教授
		峯村 敏明	美術評論家連盟常任委員、多摩美術大学名誉教授
		呉 孟晋	京都国立博物館学芸部研究員
	中国側	張 曉 凌	中国国家画院副院長
		丁 寧	北京大学芸術学院副院長・教授
		杭 間	清華大学美術学院副院長・教授
	司会	川口 直宜	泉屋博古館分館長
15:30~15:40	休憩		
15:40~16:50	討議・質疑応答		
16:50~17:00	閉会挨拶	中原 佑介	美術評論家連盟会長
17:20~19:00	懇親会(於:館内レストラン「アクア」、会費:3,000円 参加御希望の方は、申込書に御記入ください。会費は、懇親会受付にてお支払いください)		

◆お申込み・お問い合わせ先 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビル423区 日本中国文化交流協会
TEL 03-3212-1766 FAX 03-3212-1764

◆お申込み方法 本紙「参加申込書」に住所、氏名、電話番号等を明記のうえ、ファックスまたはお電話にてお申込みください。

◆定員 100名 定員に達し次第締切り。参加可否は聴講券発送をもって代えさせていただきます。

日本中国文化交流協会 行き
FAX 03-3212-1764

2010日中美術シンポジウム参加申込書

氏名	(フリガナ)	住所	(〒 -)
TEL FAX		所属	
参加を希望される番号に○を付けてください(すべて参加も可能です)			
1. 基調講演		2. パネルディスカッション	
3. 懇親会(会費3,000円)			